

研究機関名：旭川医科大学

2025 年 5 月 9 日（第 1.0 版）

承認番号	25034
課題名	院内肝炎ウイルス陽性者の実態調査
研究期間	西暦 2025 年 6 月 9 日（実施許可日） ～ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	当院での肝炎ウイルス陽性者への受診勧奨、院内陽性者対策が導入された前後に HBs抗原陽性及びHCV抗体陽性が確認された患者さんのうち、非専門医が検査を施行した患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、主病名、過去肝炎ウイルス検査施行の有無、受診状況[専門医・非専門医等]及び院内専門医への紹介数[率]・受療率、紹介できない理由等） ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐血液 ☐その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
外部への試料・情報提供	☐自施設のみで利用 ■多施設共同研究グループ内（提供先：国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター：是永匡紹、大阪公立大学：小塚立蔵）（提供方法：電子データ） ☐海外へ提供（国名： ）（個人情報保護に関する制度の有無： ）（提供方法： ） ☐その他（提供先： ）（提供方法： ） ■利用/提供予定日（実施許可日から 1 ヶ月後）
研究組織	研究代表機関：国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 肝疾患研修室長 是永匡紹 共同研究機関：北海道大学/大原正嗣、札幌医科大/廣田健一、旭川医科大/澤田康司 弘前大/飯野勢 山形大学/上野義之、 東北大学/井上淳、 仙台厚生病院/近藤泰輝、群馬大学/戸島洋貴・戸所大輔、高崎医療センター/柿崎暁 茨城医療センター/池上正 東海大学/立道昌幸、横浜市立大学/米田正人、 武蔵野赤十字病院/玉城信治、 虎の門病院/芥田憲夫・寺本いづみ、埼玉医科大/持田智・内田義人、千葉大学/興梠慧輔、 船橋中央病院/是永圭子、信州大学/梅村武史、 山梨大学/井上泰輔・前川伸哉、 新潟大学/寺井崇二、 順天堂大学附属静岡病院/玄田拓哉、 浜松医科大学病院/川田一仁、 愛知医科大学/伊藤清顕、 名古屋大学/本多隆、 藤田保健衛生大学/川部直人、 名古屋市立大/井上貴子、 岐阜大学/末次淳、 富山県立中央病院/酒井明人、 金沢大学/島上哲朗、 福井済生会病院/橋本まさみ、 大阪市立大学/榎本大・小塚立蔵、 大阪医薬大/朝井章、鳥取大学/永原天和、 島根大学/飛田博史、 岡山大学/難波美穂子、済生会岡山病院/池田房雄、広島大学/

	柘植雅貴・藤野初江 山口大学/高見太郎・佐々木嶺、山口県済生会山口総合病院/日高勲, 下関医療センター/加藤彰, 愛媛大学/日浅陽一・徳本良一, 香川県立中央病院/高口浩一, 徳島大学/立木佐知子、久留米大学/井出達也, 高知大/堀野美香、佐賀大学/高橋宏和・磯田広史、ロコモディカル研究所/江口有一朗、美川眼科：西村和久、宮崎大学/永田賢治, 大分大学/遠藤美月・荒木光江, 熊本大学・熊本労災病院/瀬戸山博子、慶応大学/後藤励・沢口絵美子
研究の意義、目的	治療の進歩により経口薬のみで肝炎ウイルスがコントロール可能となったこともあり、厚生労働省健康局より「肝炎ウイルス検査の検査目的や検査結果に関わらず、受検者自身が検査結果を正しく認識できるよう医療提供者が適切な説明を行うこと」、また「検査を実施した医療機関（の担当医師）は、その結果を本人に伝え、陽性の場合には専門医療機関等に紹介する」という通知がなされています。これらの通知により、術前検査等で診断される肝炎ウイルス陽性者を他科の医師（非専門医）が、肝臓専門医へ確実に受診させることがより一層重要となり、本研究班では、簡便な受診勧奨方法の一つとして、電子カルテのアラートシステムが有効であると報告（下村泰之 他 肝臓 2015. 打田(小林)佐和子 他 肝臓 2016）し普及に努めてきました。その一方で、アラート等の受診勧奨に反応しない医師が存在し、その理由として、肝炎ウイルスに対する理解度低下・主病名の治療優先・年齢によるパフォーマンスステータス低下・かかりつけ医を受診中等が考えられていますが、その実態は明らかではありません。 本研究では、施設内で非専門医が施行した肝炎ウイルス検査陽性患者さんを対象とし、その臨床情報や紹介数、受療数を解析することで紹介しない原因を明らかにするとともに、陽性者の認識度（受診歴）や紹介率の標準指標を設定することを目的としています。
研究の方法	厚生労働科学研究費「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化にむけた研究」「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究」「肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究」、国際医療研究開発費「ポスト肝炎ウイルス時代の肝疾患症例長期フォローアップと医療経済効果」の研究代表者、研究分担者・協力者併せて 53 施設で入院、手術時等で肝炎ウイルス検査が施行され、HBs 抗原陽性及び HCV 抗体陽性が確認された症例中、非専門医の検査で陽性と判明された患者さんの年齢、性別、主病名、過去肝炎ウイルス検査施行の有無、受診状況（専門医・非専門医等）及び院内専門医への紹介数（率）・受療率、紹介できない理由等を診療録より収集し解析します。更に、紹介後の経過・施設間での紹介率の差についても併せて解析します。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

い。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院研究責任者：旭川医科大学病院 消化器内科 澤田康司
電話番号：0166-68-2462

研究代表者：国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 肝疾患研修室長 是永匡紹
電話番号：047-375-4757